

# 施設効果(ストック効果)

## 流路工整備により中山間地域の地域振興を後押し【荒川】

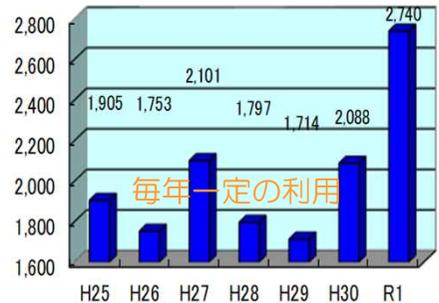
- 本区間は、洪水時に乱流・侵食が繰り返される不安定な河床を呈しており、度重なる氾濫が起こっていたが、流路工整備により流路が安定
- 流路が安定したことにより背後地を活かしたレジャー施設が整備でき、県外からも来場

昭和42年羽越災害後の状況

荒川流路工背後地ではレジャー施設が整備され、**交流拠点の場として活用**



- ※荒川本川上流部（小国町北部地域）の羽越災害による被害
- ・家屋の床下浸水 7戸
  - ・橋梁の流失 2橋
  - ・農地の流失 1.5ha
  - ・農地の埋没 0.5ha
  - ・農地の冠水 20ha
  - ・農業用施設の流失 5箇所



オートキャンプ場利用者数の推移  
★年間平均で  
**約2,000人が利用**



..... : 整備区間

平成18年撮影

流路工整備後、当該地域において目立った被災なし